



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 清和中央ホールディングス株式会社
 コード番号 7531 URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阪上 正章
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)阪上 恵昭
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL)06-6581-2141

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績 (平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	36,429	11.0	984	△6.5	1,049	△4.9	671	△4.8
29年12月期第3四半期	32,831	7.8	1,053	68.5	1,103	62.1	704	52.3

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 657百万円 (△22.8%) 29年12月期第3四半期 851百万円 (142.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	171.37	—
29年12月期第3四半期	179.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	34,503	13,779	39.3
29年12月期	31,876	13,323	41.1

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 13,551百万円 29年12月期 13,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年12月期	—	0.00	—		
30年12月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	49,000	7.9	1,150	△15.7	1,230	△14.1	790	△14.9
								201.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	3,922,000株	29年12月期	3,922,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	6,309株	29年12月期	6,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	3,915,691株	29年12月期3Q	3,915,691株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費・雇用の持ち直しの動きが続き、鉱工業生産も一部に弱さがみられるものの持ち直しの動きは継続し、企業の設備投資、企業収益も堅調に推移する中、国内景気は改善傾向が続きましたが、相次ぐ自然災害の経済に与える影響に留意する必要がある状況となりました。一方、国際経済では、米国の景気は着実に回復が続いており、欧州も緩やかな回復基調が維持されました。中国経済は持ち直しの動きが続き、ASEAN諸国も緩やかな回復基調が続いていますが、米国発の通商問題の動向、英国のEU離脱問題に伴う不透明感、金融資本市場の変動や各国政策に関する不確実性の影響等に留意を要する状況が続きました。

鉄鋼業界におきましては、トランプ大統領による輸入制限の発動の影響から、鉄鉱石や石炭などの原材料価格の下落局面もありましたが、国内鋼材需要は堅調に推移した結果、総じて製品価格は高値安定となりました。

このような経営環境下、当社グループは、鉄鋼市況の動きに注視し、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては販売スプレッドの維持と経費削減に重点を置き、きめ細かい営業活動を展開してまいりました。上半期においては、昨年来の在庫品を中心とした販売スプレッドの拡大効果の維持が寄与しましたが、仕入価格値上がり分の販売価格への転嫁には厳しい環境が続き、徐々にスプレッド効果が縮小した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、364億29百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益9億84百万円（前年同期比6.5%減）、経常利益10億49百万円（前年同期比4.9%減）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億71百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26億26百万円増加し、345億3百万円となりました。この主な要因は、前渡金の増加17億27百万円、受取手形及び売掛金の増加3億66百万円、現金及び預金の増加3億38百万円、商品の増加2億38百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ21億70百万円増加し、207億24百万円となりました。この主な要因は、流動負債のその他に含まれる前受金の増加12億69百万円と、支払手形及び買掛金の増加9億75百万円等によるものであります。

この結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ4億56百万円増加し、137億79百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,098	1,160,135
受取手形及び売掛金	15,344,217	15,710,837
商品	3,706,420	3,944,518
繰延税金資産	41,929	43,938
前渡金	2,474,644	4,202,550
その他	382,520	489,678
貸倒引当金	△60,992	△61,048
流動資産合計	22,710,837	25,490,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,318,287	1,263,456
土地	4,947,781	4,947,781
その他(純額)	706,315	676,058
有形固定資産合計	6,972,384	6,887,296
無形固定資産	45,101	29,279
投資その他の資産		
繰延税金資産	13,959	15,672
その他	2,134,993	2,081,017
貸倒引当金	△325	△90
投資その他の資産合計	2,148,627	2,096,599
固定資産合計	9,166,114	9,013,175
資産合計	31,876,951	34,503,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,249,517	13,224,809
短期借入金	2,500,000	2,690,000
未払法人税等	351,000	95,246
賞与引当金	22,033	135,984
役員賞与引当金	45,000	31,500
その他	1,577,752	2,730,576
流動負債合計	16,745,302	18,908,117
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
繰延税金負債	1,179,497	1,169,171
役員退職慰労引当金	229,120	246,308
退職給付に係る負債	164,458	173,026
その他	134,834	127,416
固定負債合計	1,807,911	1,815,923
負債合計	18,553,213	20,724,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,800	735,800
資本剰余金	601,840	601,840
利益剰余金	10,984,007	11,459,238
自己株式	△26,112	△26,112
株主資本合計	12,295,535	12,770,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	807,119	780,665
その他の包括利益累計額合計	807,119	780,665
非支配株主持分	221,083	228,311
純資産合計	13,323,738	13,779,743
負債純資産合計	31,876,951	34,503,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	32,831,251	36,429,562
売上原価	29,053,937	32,581,035
売上総利益	3,777,314	3,848,527
販売費及び一般管理費	2,723,795	2,863,844
営業利益	1,053,518	984,682
営業外収益		
受取利息	2,862	3,658
受取配当金	23,674	24,426
仕入割引	39,139	39,863
その他	15,674	24,662
営業外収益合計	81,351	92,610
営業外費用		
支払利息	6,375	6,463
売上割引	18,271	19,086
その他	6,741	1,962
営業外費用合計	31,389	27,512
経常利益	1,103,481	1,049,781
税金等調整前四半期純利益	1,103,481	1,049,781
法人税等	385,192	366,190
四半期純利益	718,288	683,590
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,543	12,574
親会社株主に帰属する四半期純利益	704,744	671,016

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	718,288	683,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132,725	△26,576
その他の包括利益合計	132,725	△26,576
四半期包括利益	851,013	657,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836,951	644,562
非支配株主に係る四半期包括利益	14,062	12,451

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,744,507	16,071,201	15,542	32,831,251	—	32,831,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,475	12,378	464,039	541,892	△541,892	—
計	16,809,983	16,083,580	479,581	33,373,144	△541,892	32,831,251
セグメント利益	498,468	550,111	231,476	1,280,055	△176,574	1,103,481

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,574千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,856,252	17,555,463	17,846	36,429,562	—	36,429,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,860	36,712	559,735	633,308	△633,308	—
計	18,893,112	17,592,176	577,581	37,062,870	△633,308	36,429,562
セグメント利益	505,298	499,634	303,921	1,308,854	△259,073	1,049,781

(注) 1. セグメント利益の調整額△259,073千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。